

平成30年度 大和市立南林間小学校 グランドデザイン

学校教育目標

- 自ら学び、考える子（知育）
- 思いやりがあり、豊かな心をもつ子（情育）
- 正しいと思ったことを行動にうつす子（徳育）
- 丈夫な体づくりにつとめる子（体育）

A 特活行事

「自主性をもってよりよい学校生活をおくるために」

- ・ 委員会の仕事内容の充実を図り、全校児童に知らせていく
- ・ 様々な活動を通して自己表現する機会をつくり、活躍できるように内容をくふうする
- ・ 継続して行っている活動を大切にする

B 児童支援

「進んで先にあいさつする、共生の心を育むために」

- ・ マナーとしての意味だけでなく、あいさつは人と人をつなぐものであることを意識できるよう働きかけをする
- ・ 相手の気持ちを考えた、おもいやりをもった行動をとり、学校が共生の場だということを意識させる

【学校経営方針】

1. 子どもの安全・安心を第一に考える
2. 子どもに範を示す大人としての自覚をもつ
3. 専門職としての指導力・授業力を身につける
4. 保護者・地域から信頼される教職員・学校をめざす

- キラキラタイム同じ遊びで2回実施する
- 委員会掲示板を設け、活動内容を全校児童に知らせ、活動を充実させる
- 継続して行っている活動について、取捨選択を行い、よりよい内容のものにする
- 行事等に関係する備品の整理を行う

- いじめ防止に関する「標語」と「おもいやり」の日（腕章）の活動を継続し、地域にも浸透させていく
- 児童会、委員会と連携し、あいさつ運動を推進していく
- 各クラスで「みんなのやくそく」の確認の徹底を図る
- 支援会議、ケース会議の充実を図る
- 特別支援教育の理解と充実を図る

【今年度の重点目標】

あたたかい心で支え合い、好奇心や探究心にあふれ、
未来に向かってたくましく生きぬく子どもたちを育てる。

【児童の努力目標】

- ◎ チャレンジ・家庭学習ノート
（カテベンノート）
- ◎ ひろげよう チャレンジ読書！
～読む 書く 伝える～
- ◎ 進んで先にあいさつしよう

- 辞書を活用する機会を増やす
- 図書館の利用を充実させる
- ICTの活用を計画的に行う
- 課題設定の工夫に努める
- 問題解決のためのいろいろな方法を身につけさせる

- 清掃・学校美化活動の励行に努める（朝清掃・ゴミ拾い等）重点を決めていく（例 1学期「トイレ」2学期「水道」）
- 行事の反省を、次につなげるためにわかりやすくする（できることはすぐに動き出す）
- 行事等のつながり教科・学年など関連づけて明確にする

C 教科研究

「能動的に学び実践する子どもを育成するために」

- ・ 表現力の育成を図る
- ・ 主体的に友だちとかかわりながら、問題解決する力の育成を図る

D 総務

「人（児童・子ども）を中心に支え合う環境づくり」
～自ら考えて行動する児童を育成するために～

- ・ 学校・学級のルールを徹底し、安全に学ぶことのできる環境の確保をするとともに、児童の支援を人材確保をする（人・もの・こと）地域の人材活用